

「弁護士を志したきっかけは、悔しい思いや、悲しい思いをしている人を手助けできる仕事だからです。印象に残る案件は。」

弁護士になって2年目、秋田県の法テラスでスタッフ弁護士として働いた時、弁護士殺害事件で加害者の弁護にあたりました。離婚調停の結果に納得がいかず、加害者が元妻の代理人を務めていた現役の弁護士を刺殺したので

す。加害者側の弁護を通じて、被告人の利益を最優先に考えないといけないこ



河合基裕法律事務所
KAWAI MOTOHIRO LAW OFFICE

弁護士

河合基裕さん

とを学びました。本当に被告人だけが悪いのか、被害者にも落ち度はなかったのか。この事件から刑事弁護における弁護士の職責の何たるかを自分なりに学んだといえます。

不利な案件も粘

もう一つは、孝行息子が母親を殺害した事件です。男性は「病院で管をつながら、延命措置をされるのは、母親にとって酷で悲しい。薬にさせてやりたい」と犯行に及びました。その男性

は本当に母想いで、母の好物を全国から取り寄せたり、食事を食べやすいようにゼリー状にしてあげたり、結婚もせず、長年献身的に介護してきたのです。このような人を刑務所に入れる

交通事故や離婚問題から労働問題、債務整理など幅広く対応しています。特に債務整理については「破滅だ。自殺するしかない」と思っている方もおられますが、そんなに大変なことでは

人の労働問題などにも力を入れたいです。夢を抱いて日本に来た彼らの人生設計をお手伝いしたい。手前みそですが、「先生は親身になってくれるから」とみなさん相談者を紹介してくださいます。本当にありがたいことです。



河合先生のスタイルは、粘り強く事件に取り組むことを心掛けています。法律論の組み立てや立証が難しい事案もありますが、何とか解決にこぎ着けるよう一生懸命やっています(笑)。

のは正義に反するということを粘り強く法廷で訴え、執行猶予判決を得ました。自分がこの男性の立場だったらどう身につまされる思いでした。

「現在、注力されている分野は。」

「現在、注力されている分野は。」

プロフィール

法テラス秋田時代は刑事弁護を中心に担当。遠方の警察署への接見にも行き、粘り強い弁護活動を行った。民事事件でも相談者の話に耳を傾け、よりよい解決に至るよう心がける。労働事件や民事執行も経験豊富。歴史小説好き。アステカ・マヤなど古代南北アメリカ文明に興味あり。

河合基裕法律事務所

大阪市北区西天満3-13-18 島根ビル3階

電話06(6926)4526

■受付時間/10:00~17:00

■定休日/土・日・祝

http://kawai-lawoffice.jp